

論文内容要旨

論文題名: 神経筋難病患者に対する

呼吸ケアサポートチーム介入の有用性について

専攻領域名: 運動障害リハビリテーションと呼吸ケア領域

氏名: 大戸 恵介

内容要旨

近年、多職種が連携したチーム診療が注目されている中、呼吸ケアサポートチーム (Respiratory care support team: RST) が担うべき役割は多岐にわたる。本研究は、神経筋難病を対象としてRSTが介入した呼吸ケアが患者の予後に与える影響について検討した。

対象は2016年4月～2019年3月の期間に入院していた神経筋難病患者55名 (RST介入群20名、非介入群35名) である。RST介入群と非介入群の生存率を比較した。加えて、生存に関連する因子を分析した。

生存率はRST介入群60.0%、非介入群31.4%であり、RST介入群の生存率が有意に高かった ($p < 0.05$)。加えて、RSTの介入が関連する因子として抽出された。

肺炎を合併した神経筋難病患者に対し、RSTによる呼吸ケアの介入は、肺炎の生存率を高め、再発予防への効果が期待でき、患者の健康関連生活の質 (health related quality of life: HRQOL) 向上と予後改善に寄与する可能性があると考えられた。